

NY マーケットレポート (2017 年 4 月 3 日)

NY 市場では、序盤に発表されたマークイット米国製造業 PMI、ISM 製造業景況指数がともにさえない結果となったことから、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、ロシアの地下鉄で爆発が発生したことを受けて、投資家のリスク回避志向が強まり、株価下落や米債券利回りの低下につながったことも影響し、比較的安全な通貨とされる円が主要通貨に対して買われる動きとなった。そのため、ドル円・クロス円は、終盤まで軟調な動きが続いた。

2017年 4月3日 (月)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	111.43	111.59	111.13
EUR/JPY	118.86	119.05	118.66
GBP/JPY	139.63	139.90	139.38
AUD/JPY	84.76	85.08	84.64
EUR/USD	1.0667	1.0681	1.0659

LONDON	高値	安値
USD/JPY	111.51	111.27
EUR/JPY	118.96	118.65
GBP/JPY	139.70	139.02
AUD/JPY	84.78	84.52
EUR/USD	1.0674	1.0650

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	110.92	111.47	110.86
EUR/JPY	118.38	118.85	118.14
GBP/JPY	138.47	139.38	138.31
AUD/JPY	84.35	84.90	84.24
NZD/JPY	77.78	78.02	77.57
EUR/USD	1.0672	1.0680	1.0643
AUD/USD	0.7605	0.7625	0.7597

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20650.21	-13.01
S&P500	2358.84	-3.88
NASDAQ	5894.68	-17.05
日経225 (CME)	18985	+25
トロント総合	15584.40	+36.65
ボルサ指数	48819.07	+277.51
ボベスパ指数	65211.48	+227.41

4/4 経済指標スケジュール

08:50 【日本】3月マネタリーベース
 10:30 【オーストラリア】2月貿易収支
 13:30 【オーストラリア】政策金利発表
 17:30 【英国】3月建設業PMI
 18:00 【欧州】2月小売売上高
 21:30 【米国】2月貿易収支
 21:30 【カナダ】2月国際商品貿易
 22:00 【メキシコ】2月景気先行指数
 23:00 【米国】2月耐久財受注
 23:00 【米国】3月製造業受注指数
 02:00 【ニュージーランド】3月QV住宅価格

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1254.00	+2.80
NY 原油	50.24	-0.36
CME コーン	367.75	+3.50
CBOT 大豆	938.25	-7.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.226%	1.258%
3年債	1.437%	1.497%
5年債	1.855%	1.926%
7年債	2.137%	2.215%
10年債	2.325%	2.391%
30年債	2.958%	3.015%

ドイツ10年債	0.277%	0.328%
英国 10年債	1.064%	1.139%

4/4 主要会議・講演・その他予定

・ダラー口FRB理事 講演

NY 市場レポート

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

3 月シンガポール購買部景気指数 51.2 (予想 50.8・前回 50.9)

3 月シンガポール電子産業指数 51.8 (前回 51.4)



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

3月マークイット米国製造業 PMI 53.3 (予想 53.5・前回 53.4)



出所 : Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

3月米ISM製造業景況指数 57.2 (予想 57.2・前回 57.7)



出所 : Bloomberg

経済指標データ

＜米 ISM 製造業景況指数＞

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
景気	57.2	57.7	56.0	54.5	53.5	52.0
価格	70.5	68.0	69.0	65.5	54.5	54.5
生産	57.6	62.9	61.4	59.4	55.6	54.4
新規受注	64.5	65.1	60.4	60.3	54.8	54.1
受注残	57.5	57.0	49.5	49.0	49.0	45.5
入荷遅延	55.9	54.8	53.6	53.0	55.5	52.2
在庫	49.0	51.5	48.5	47.0	49.0	47.5
雇用	58.9	54.2	56.1	52.8	52.5	51.8

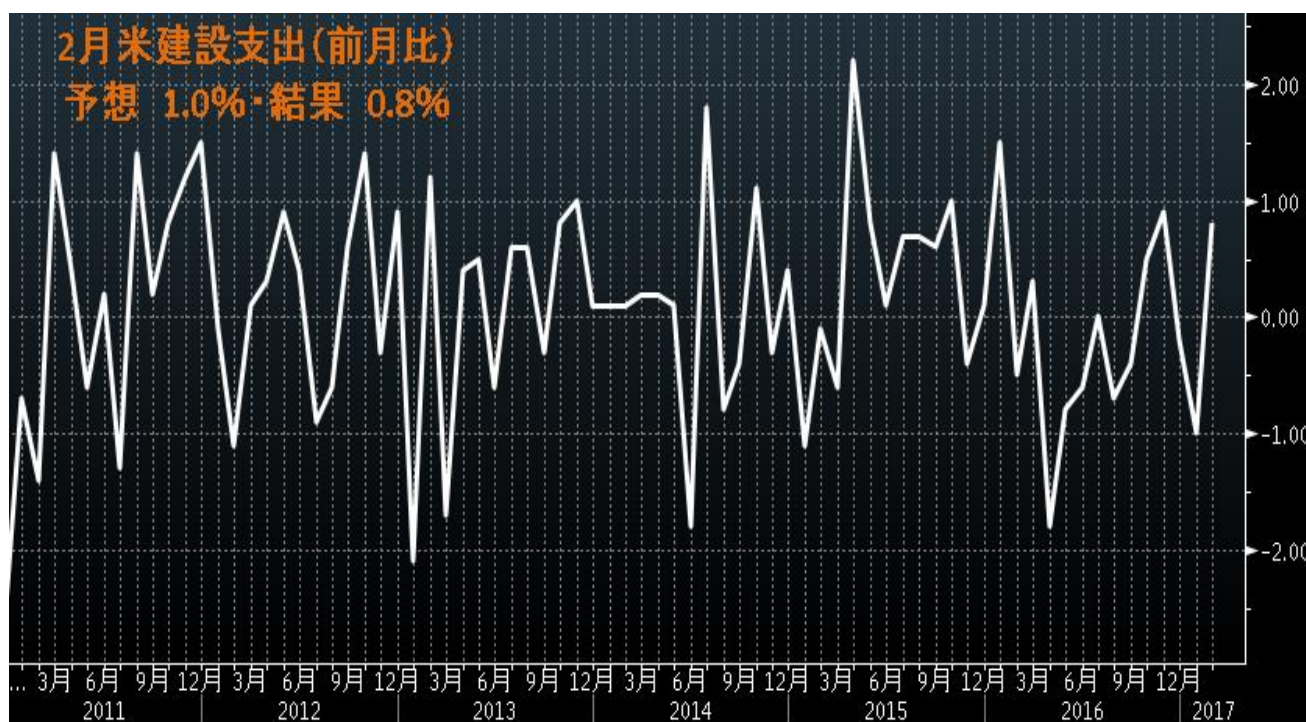
3月の米 ISM 製造業景況指数は、市場の予想通りの 57.2 となったものの、前月から 0.5 ポイント低下した。ただ、製造業の景気拡大・縮小の判断基準となる 50 は 7 ヶ月連続で上回った。生産が 57.6（前月 62.9）、新規受注が 64.5（65.1）、在庫が 49.0（51.5）と前月から低下したが、雇用は 58.9（54.2）、仕入れ価格は 70.5（68.0）と上昇した。そして、18 業種中など 17 業種が景況拡大を報告した。

23 : 00

＜ 経済指標の結果 ＞

2 月米建設支出（前月比） 0.8%（予想 1.0%・前回 -0.4%）

前回発表の-1.0%から-0.4%に修正



出所 : Bloomberg

2月の米建設支出は、年率換算で前月比+0.8%の1兆1928億2200万ドルとなり、3ヵ月ぶりのプラスとなった。住宅需要の拡大を背景に、金額ベースで2006年4月以来の高水準となった。前年同月比では+3.0%となった。

①民間の建設支出は、前月比+0.8%の9173億1900万ドル、前年同月比では+6.9%。住宅建設は、前月比+1.8%の4846億6500万ドルと、2007年7月以来の高水準となった。前年同月比では+6.4%。住宅以外では前月比-0.3%の4326億5400万ドル、医療施設や運輸関係の施設の減少が目立った。前年同月比では+7.5%だった。

②連邦政府など公共部門は、前月比+0.6%の2755億300万ドルと、4ヵ月ぶりの増加、前年同月比では-8.0%となった。州・地方政府が前月比+0.9%、連邦政府は-2.8%。

23 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

1Q カナダ企業景況感調査[予想売上] 21.00 (前回 26.00)



出所 : Bloomberg

23 : 30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、新規材料に乏しく、米中首脳会談の結果を見極めたいとの思惑もあり、主要株価は序盤から限定的な動きとなった。ダウ平均株価は序盤は堅調な動きとなったが、その後マイナス圏まで下落している。

0 : 35

南アフリカをジャンク級に格下げ、見通しは「ネガティブ」～S & P



出所 : Net Dania

《欧州のポイント》

スペイン中銀は、四半期報告を公表し、2017年のGDP伸び率予想を前回の2.5%から2.8%に上方修正した。2018年GDP伸び率予想も、前回の2.1%から2.3%に、2019年も2%から2.1%に、それぞれ引き上げた。中銀は、経済保護主義が台頭し、英国のEU離脱や今年の欧州での総選挙を巡り先行き不透明感が高まる中、外的要因が成長見通しに対する下振れリスクとの認識を示した。また、インフレ率については、原油価格の前年との比較によるベース効果で一時的に押し上げられたとし、今年のインフレ率は前年比で平均2.2%上昇するとの見方を示した。2018年のインフレ率は1.4%、2019年は1.6%との見通しを示した。

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、3月の米ISM製造業景況指数が前月から低下し、米景気の先行きに対する楽観的な見方が後退したことから、安全資産とされる米国債の買いが先行した。また、ロシアの地下鉄爆発も投資家のリスク回避志向につながり、米国債の買いを促した。

午前の利回りは、30年債が2.96%（前週末3.01%）、10年債が2.33%（2.39%）、7年債が2.15%（2.21%）、5年債が1.87%（1.92%）、3年債が1.45%（1.50%）、2年債が1.24%（1.26%）。

2:00

《 経済指標の結果 》

3月メキシコIMEF製造業指数 45.9（予想 48.0・前回 46.3）
前回発表の46.8から46.3に修正

3月メキシコIMEF非製造業指数 48.0（予想 47.9・前回 46.8）
前回発表の46.2から46.8に修正



出所：Bloomberg



《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ロシア・サンクトペテルブルク市の地下鉄爆発で投資家がリスク回避姿勢を強めた。また、フランス大統領選の第1回投票を23日に控えて欧州の政治リスクも意識され、主要株価は軟調な動きとなった。



《ポイント》

フランス大統領選挙世論調査（オピニオンウェイ）～第1回投票では、ルペン国民戦線（FN）党首は25%（27日時点 26%）、マクロン前経済相は24%（24%）、フィヨン元首相は19%（20%）。決選投票ではマクロン氏対ルペン氏なら63%対37%（27日時点 61%対39%）、フィヨン氏対ルペン氏なら58%対42%（58%対42%）

3 月米自動車販売

フィアット・クライスラーは-5.0% (予想 0.4%)
 フォードは-7.2% (予想-5.9%)
 GMは+1.6% (予想+7.0%)
 VWは+20.3%

トヨタは-2.1% (予想-1.2%)
 日産は+3.0% (予想+2.8%)
 ホンダは-0.7% (予想+4.9%)

4 : 25

《 要人発言 》

ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁

- ・「今年 3 回の利上げが適切」
- ・「急ぐ必要はないが、対応が後手に回ること望まない」
- ・「米国のインフレは緩やかながら確実に上昇している」

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 2.80 ドル高の 1 オンス=1254.00 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ロシアでの地下鉄爆発や米製造業関連の経済指標がさえない結果となったことで、投資家のリスク回避志向が広がり、比較的
 安全な資産とされる金を買われた。また、フランス大統領選を控えて欧州の政治に先行き不透明感が強まっていることも、支援材料と
 なった。



出所 : Bloomberg

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 0.36 ドル安の 1 バレル=50.24 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、武装集団の妨害で一時停止していたリビアの原油生産の再開が伝わったことで供給過剰が意識され、売りが優勢となった。また、米国内の石油掘削装置の稼働数が増加したことも、引き続き材料視された。



出所：Bloomberg

《 米株式市場 》

米株式市場は、新規材料に乏しい中、米中首脳会談の結果を見極めたいとの思惑もあり、主要株価は序盤から限定的な動きとなった。その後、米製造業関連の経済指標が冴えない結果が続いたことに加え、ロシアの地下鉄爆発を受けて、投資家がリスク回避姿勢を強めたことも影響し、主要株価は軟調な動きが続いた。ただ、終盤にかけては下げ幅を縮小する動きとなり、小幅安で終了した。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米製造業関連の経済指標が前回から低下したことで、米景気の先行きに対する楽観的な見方が後退したことから、ドルは軟調な動きとなった。また、株価や原油価格の下落、債券利回りの低下も加わり、円が買われる動きとなり、ドル円・クロス円は終盤まで軟調な動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。